

尾山台ナザレン幼稚園  
2020年度 学校自己評価  
学校関係者評価

1. 学校評価を行うに当たって

尾山台ナザレン幼稚園が今後も幼稚園として存在していくためには、保育の質を高め、地域に認められる幼稚園にならないといけないと考えます。

今後、幼稚園として、保育の質を高めていくことが重要な課題ですが、どのようにして保育の質を高め、保護者に認知され、地域において認められるかを常に考えなければなりません。そこで、目指す保育として以下のように考え、実践していきたいと考えます。

なお、本園は、この自己評価を基に園を挙げて改善、改革に取り組み、より良い教育活動を行うように努めてまいります。

2. 尾山台ナザレン幼稚園の教育目標

教育目標	「みんなで育つ、みんなの幼稚園」を目標に、神に愛され、みんなに愛され、ともに育つ子どもとなるように成長を支援する。
教育の特色	保育のキー・ワードとして、 ① キリスト教保育 —— 愛されること、愛することを知る ② 自由保育 —— 自由遊びを通して遊びこむ ③ みんなの幼稚園 —— ひとりとして疎外されないでみんなで育つ のもとに、健全な心と身体をつくる。

### 3. 評価

	評価項目	具体的な取り組みと自己評価
コロナ禍の中で	コロナ禍による影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月と行政からの要請により休園とせざるを得ませんでした。6月は分散登園ということで、各学年半数ずつの登園でした。6月8日に入園式を行いました。7月になり通常の登園となりました。</li> <li>・休園時には電話で保護者や園児との交わりを行いましたが、回数的には十分ではなかったと思われます。</li> <li>・コロナによる影響は、年間行事にも現れました。運動会は中止となり、代わりに学年ごとのプレイ・デー（保護者も参加）を行いました。父母の会主催の「こどもまつり」も中止となりました。</li> <li>・毎年行ってきた年長組のお泊り会、卒園遠足もできなかった。</li> <li>・分散登園で子どもたちの友だち関係が崩れたり、遊び仲間がいないなど、通常の関係性ができずにトラブルになったりすることがあった。</li> </ul>
教育課程の編成と実施	自由遊びの時間をできるだけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中・年長組の体操や英語の時間、あるいは年少組の11月からの体操の時間を除き、毎朝登園後から自由遊びの時間にすることが出来た。</li> <li>・遊びこむための環境設定が出来るようになってきた。</li> <li>・枠にはめずに自由な発想から遊びの展開ができています。</li> <li>・子どもたちのやりたいという思いに沿った遊びができています。</li> <li>・自由な遊びには危険も隣り合わせにあるという状況からの遊びができています。</li> <li>・主体的な、みんなで遊ぶ遊び方ができていた。</li> </ul>
	聖話絵本の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中・年長組は、前年度からの取り組みもありスムーズに展開できた。年少組はクラスが落ち着く2学期以降に行うことが出来た。</li> <li>・特に2学期のクリスマスの行事の準備となりよかった。</li> <li>・聖話絵本の続きを楽しみにするようになった。</li> </ul>
	個人記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人記録を一人1ヶ月1枚の割で作成できた。子どもたちや保護者に対して随時閲覧出来るようにした。子どもたちや保護者の反響は良かった。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスだよりの発行が毎月できた。</li> </ul>
	制作について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母の日、父の日、クリスマスのプレゼントを製作するときにも、一斉に制作を行わず、小グループに分け行った。希望者から少しずつクラス全体に波及するように行った。</li> </ul>
	食育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の田んぼで、苗を植え、収穫し、精米して炊き、おにぎりにして食した。</li> <li>・園の畑で大根、サトイモ、小松菜などを栽培し、収穫し家庭に持ち帰ったり、園で料理して食べた。</li> <li>・クッキー作りやパン作りをして楽しんで食した。</li> </ul>
環境	園庭環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオトープの一環として池を作り、金魚やめだか、ザリガニなどを放して育てた。子どもたちが慣れずに手で触ったりしたこともあり、死んだり、いなくなったりした。</li> </ul>
研修	園内外の研修に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修が軒並み中止、あるいはオンライン配信によるものになったため、十分に研修参加ができなかった。</li> <li>・園内研修を2回行った。</li> </ul>
保護者・地域との連携	地域や玉堤小学校との協力連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、行うことができなかった。</li> <li>・保護者の保育参加を行えなかった。</li> </ul>
安全管理	防災訓練の実施 防犯訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、地震に対する防災訓練を行った。消火器の取り扱いの訓練を行なった。</li> <li>・防犯訓練を行えなかった。</li> </ul>
保健管理	園児の健康に関わる年間指導計画 健康診断の定期的な実施と園児の健康状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科健康診断と歯科健康診断を行った。</li> <li>・職員の定期健康診断を行った。</li> </ul>
預かり保育	預かり保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は延べ2,600名を超える園児の預かりを行った(1日平均12名弱であった)。</li> <li>・特に4月、5月にかけては新型コロナウイルスの影響もあって極端に少ない人数となったが、預かりを必要とする保護者もあり、できて良かった。</li> <li>・全体として、定期的に利用する園児が増えてきた。</li> </ul>
れんらくアプリの活用	れんらくアプリの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席届をれんらくアプリから届出するようにした。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 預かりの申し込み、取り消しをれんらくアプリから行った。</li> <li>・ 用品、写真の販売もれんらくアプリを通して行った。</li> <li>・ クラス日より、幼稚園からのお知らせ等をれんらくアプリから行った。</li> <li>・ 緊急連絡等をれんらくアプリから行った。</li> </ul>
--	--	--

・ 幼稚園では、自由保育へと切り替え、個人記録の作成、保護者の保育参加（今年度はできず）により、またクラスだよりの発行等により保育の内容を公開してきました。今後とも、保育の内容についての透明性を高めるとともに、情報発信をしていきたいと考えております。

## 5. 2021年度の取り組み

教育目標「みんなで育つ、みんなの幼稚園」 4年目

- ① 「みんなで育つ、みんなの幼稚園」の目標に向けて、中でも自由保育、それも徹底的に遊び込むことに重点的に取り組む。
- ② 個人記録の充実
- ③ 園庭環境の整備
- ④ れんらくアプリ（保護者連絡ツール）の有効活用
- ⑤ 預かり保育の充実

## 6. 関係者評価委員会の評価

本幼稚園の経営母体である宗教法人日本ナザレン教団の尾山台幼稚園運営委員会の評価です。

- ・ 新型コロナ禍にあって、良く対応できている
- ・ 取り組みとその状況に関しては報告にあるとおりのことをやっていると認められる。十分に評価に値するものと思われる。